

# 抗真菌外用剤 採用薬一覧表

2014/2/19 県連薬事委員会

系統	薬品名	成分名	塗布回数	採用 ● 中止 ○ 限定 ▲ 非採用 ×				薬価 /g,mL	OTC なし	発売	コメント
				クリーム	液	軟膏	スプレー				
イミダゾール	エンペシド	クロトリマゾール	2	○	×			25.7		1976	最初のイミダゾール系の薬、口腔内用あり。腔錠など剤形が豊富
	フロリードD	ミコナゾール	2	○				16.2		1981	口腔内用あり
	マイコスポール	ビホナゾール	1	▲	×			45.7		1986	最初の1日1回の薬
	アトラント	ネチコナゾール	1	×	×	×		39.2		1993	
	アスタット	ラノコナゾール	1	×	×	○		42.7		1994	抗菌力強い
	<b>ニゾラール</b>	ケトコナゾール	1	○	●			43.1	◎	1993	脂漏性皮膚炎に適応有り(塗布2回)
	<b>ルリコン</b>	ルリコナゾール	1	●	×	×		53.4	◎	2005	アスタットの改良型、一番新しい薬 抗菌力強い
モルホリン	ペキロン	アモルフィン	1	×			40.7		1994		
チオカルバミン酸	ゼフナート	リナフタート	1	×	×	×	49.2	◎	2000	カンジダに適応なし	
ベンジルアミン	<b>メンタックス</b>	ブテナフィン	1	● ポ	○ ポ	● メ	40.5 入 68.3		1992	カンジダに適応なし 殺菌的	
	<b>ボレー</b>										
アリルアミン	<b>ラミシール</b>	テルビナフィン	1	●	●	×	41.4 入 64.2		1993	殺菌的	

## ★使用基準

- ①有効性の高いルリコンクリームを第一選択薬とする。
- ②ルリコン無効例は、他系統のボレークリーム、ラミシールクリームへ変更する。
- ③脂漏性皮膚炎は、ニゾラール液(ローション)を1日2回の用法で処方する。
- ④難治例、副作用例など治療困難症例は皮膚科へ紹介。